

令和 6 年度 施策評価表

施策	2001 環境保全の推進	施策担当部	市民環境部	部長	石山 光昭
		施策担当課	環境保全課	課長	白石 勝己
施策の方針	地球温暖化対策を推進するとともに、豊かな自然環境の保全や自然を活かした環境教育に努める。				
関連するSDGsのゴール	       				

【ＤＯ（実施）】 後期基本計画（令和３年度～令和７年度）における数値目標

指標名		単位	基準値 (R 1)	R 3 目標値	R 4 目標値	R 5 目標値	R 6 目標値	R 7 目標値	R 5 年度	
				R 3 実績値	R 4 実績値	R 5 実績値	R 6 実績値	R 7 実績値	達成率	進捗率
①	市の公共施設における温室効果ガス排出量	t-CO ₂ /年	29,103	28,812 20,186	28,521 22,103	28,320 27,955	27,939	27,648	101.3%	98.9%
②	大村湾のCOD値	mg/L	2.0	2.0 2.4	2.0 2.0	2.0 2.3	2.0	2.0	87.0%	87.0%
③	環境講座・イベントへの参加者数	人/年	977	1,000 510	1,000 494	1,000 491	1,000	1,000	49.1%	49.1%
④										
⑤										

施策達成状況の説明

- ①市公共施設からの温室効果ガス総排出量は、前年度比26.5%の増となったが、基準年度(令和元年度)比は4%の減となり、令和5年度目標値は達成できた。
※令和3年度は、環境センター火災により一般廃棄物の焼却量が大幅に減少している。
- ②大村湾のCOD値(化学的酸素要求量)は、測定地点17か所のうち、環境基準適合となった地点は減少(適合地点が9か所から1か所)となり、平均値は2.3mg/Lで目標値2.0mg/Lを達成することができなかった。
- ③小規模なイベントのみの開催となったことにより、目標値を達成できなかった。

施策経費

(単位:千円)		R 5 年度 決算	R 6 年度 予算	R 7 年度 見込	特記事項
内訳	事業費	16,164	46,348	40,610	
	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	597	26,591	22,114	
	地方債	0	0	0	
	その他	10,800	11,262	5,132	
	一般財源	4,767	8,495	13,364	
	人件費	13,158	12,771	—	
フルコスト		29,322	59,119	—	

施策の概要（細施策）

200101	地球温暖化対策の推進	市民・事業者・行政が一体となって地球温暖化対策を推進するため、家庭生活や企業活動における省エネルギー活動の普及啓発や建築物の省エネルギー化を促進します。 また、公共施設については、再生可能エネルギー等の導入や活用を促進するとともに、市民や事業者に対し、普及啓発を行います。
200102	豊かな自然環境の保全	大村湾や多良山系などの豊かな自然環境を守るため、水源かん養機能や土砂災害防止機能などを持つ森林・農地の保全を推進します。 また、県、大村湾流域市町等で組織する「大村湾をきれいにする会」との連携を図りながら、大村湾の環境保全に努めます。
200103	環境保全意識の醸成	市民や事業者が環境についての理解を深め、自発的な環境保全活動の実践につながるよう、啓発を行うとともに、大村湾や多良山系など、自然環境を活かした環境学習を開催します。

【CHECK（評価）施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題

（地球温暖化対策の推進）

- ・市公共施設における温室効果ガスの排出量は、様々な取組により目標値は達成しているが、今後もゼロカーボンシティの実現に向け、公共施設等の建て替え、新築、増改築時等において、積極的に再生エネルギー等の導入や省エネルギーの推進を行う必要がある。

（豊かな自然環境の保全）

- ・大村湾の浄化対策は、県が中心となって様々な施策を推進しているが、大村湾の16の地点でCOD値は基準値（2.0 mg/L）超過が見られており、貧酸素水塊等も毎年発生している状況にある。

（環境保全意識の醸成）

- ・小中学生については、環境学習を新たに設けることは学校とのニーズが一致しない限り、限られた授業数の中で取り組むことは難しい。大村湾ウォッチング等は、屋外で行うイベントのため天候に左右されるとともに、気候変動による熱中症対策を行う必要がある。また、ライフジャケットの着用など、安全性の確保の必要がある。

【ACTION（改善・改革）】

上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方

（カーボンニュートラルの推進）

- ・公共施設における温室効果ガスの総排出量の削減に向けエネルギー使用料の「見える化」や長崎県が推進しているスマートムーブ（エコドライブ等）の普及に取り組んでいく。
- ・太陽光発電設備や蓄電池設備の設置費用の一部補助や電動アシスト自転車の購入費補助を引き続き実施する。

（豊かな自然環境の保全）

- ・県や沿岸5市5町等で構成する大村湾をきれいにする会（会長：大村市長）で、引き続き環境省、農林水産省、国土交通省に対し、貧酸素水塊の改善、海洋生物の生息環境の改善等の具体的な対策について要望を行う。

（環境保全意識の醸成）

- ・教育委員会等と連携をとり、対象となる小学生によりわかりやすく、内容を深めた環境学習を行う。
- ・「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、ごみ減量化やリサイクル、地球環境保全への理解を深めることを目的に、「エコフェスタ」を開催する。

令和7年度新規事業

事業名	担当課	令和7年度見込	対象・事業概要など
		事業費（千円）	
1			
2			
3			
4			
5			